

ごあいさつ

## ～これからも地域との共存共栄を目指し～

北海道地域暖房株式会社は、2020年（令和2年）10月に創立50周年を迎えることができました。これもひとえに需要家である地域の皆様、及び札幌市様をはじめとする各株主様の御支援の賜物であり、厚く御礼を申し上げます。

加えて、これ迄の50年にわたり数々の苦難・苦境を乗り越え、当社の発展を支えて下さった諸先輩各位に対しまして、感謝と敬意を表したいと思います。

振り返りますと、創業当初こそ厚別、真駒内共に主要燃料は重油でしたが、その後厚別においては1974年から、真駒内においても1985年から清掃工場のごみ焼却排熱（余熱）の利用を開始。2003年には厚別における清掃工場閉鎖に伴いRDF（Refuse Derived Fuel=ごみ固形化燃料）ボイラープラントを稼働し、現状の当社使用燃料における未利用エネルギー活用比率は、約8割になりました。結果、当社全体で概ね7割を超えるCO<sub>2</sub>削減効果を与えるに至っております（2018年度実績ベース）。引き続き、現在の削減効果を更に改善できるよう腐心してまいります。

加えて50周年の節目にあたり、改めて当社の経営理念である「クリーンで安全な熱供給事業を通じて、豊かな地域社会づくりに貢献する」、「環境との調和を重視し、地球にやさしい資源循環型社会の実現に寄与する」を社員全員で再認識・再確認し、次の50年へと歩み続けていく所存です。

我々の歩む道は決して平坦でも、なだらかなものではなく、これ迄の50年以上の苦難が予想されます。しかしながら、我々はこれからも環境の変化に柔軟に、かつ的確に対応し、地域の皆様への安心・安全・安定的な熱供給を継続すべく全社一丸となって邁進してまいります。

今後とも、なお一層の御支援と御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## ～次の50年に向け一丸となって勇往邁進します～

2020年 10月

北海道地域暖房株式会社

代表取締役 社長

観田高明